



ReBit 出張授業 ～MIRAI-a から～

総合学科のガイダンス科目である「産業社会と人間」は各校の特色がよく出る科目です。本校では MIRAI と名付け、総合的な学習の時間と関連付けて 3 年間を見通して計画を立てています。

さて、5 月8日(金)の MIRAI-a (1 年次)は、他者理解をテーマにした内容でした。キャリア教育で育成する能力の1つですし、言うまでもなく、社会人として必要な力です。

ReBit は NPO 法人で「LGBT を含めた全ての子どもがありのままの自分でオトナになれる社会を目指し」ている団体です。

LGBT とは、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)の総称ですが、LGBT 問題を切り口として『互いの違いを受け入れあえる社会』を次世代に創り出そうというのが ReBit の活動趣旨です。中学・高校・大学・各種公的機関で多くの講演活動をしています。

さまざまなマイノリティの方がいらっしゃるわけですが、まずはそういう方々の話に誠実に耳を傾けることができるかがポイントです。生徒は3人の方々のお話をしっかりと集中して聴いていました。お話がテンポよく集中しやすかったというのもあると思いますが、メモを取りながら「聴け」ていました。

マイノリティという線が引かれているのではなく、話を聴く中で人間と人間が向き合っ、自分とは異なる相手の状況を受け入れていくことの大事さに気付かせていただいたと思います。

講演会後は多数の生徒が控室を訪れ質問をしたり、記念撮影をしたりしていました。心を開いた話が生徒の心も開かせてくれたようです。



横浜緑園総合高校が目指す教育

すべての学校は教育基本法の「教育の目標」の達成を目指し、自校の特徴を活かし教育活動を行います。つまり変わらぬ普遍の目標です。ちょっと長いですが、キーワードだけを挙げます。

「幅広い知識と教養、真理を求める態度、豊かな情操、道徳心、健やかな身体、個人の価値の尊重、能力の伸長、創造性、自主自律、職業・生活との関連した学び、勤労の重視、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力、公共の精神、主体的な社会参画、社会の発展に寄与、

生命尊重、自然尊重、環境保全の意識、伝統・文化の尊重、国と郷土への愛、他国尊重、国際社会の平和と発展に寄与」

これらの目標を達成することで、教育の目的である「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備え」させることとなります。

本校では、「自主自律」「責任」の意識の育成を目指し、規範意識を根付かせるため、昨年度から頭髪・服装指導に力を入れていきます。まだまだ指導の過程で徹底までは時間がかかりそうですが、ルールを守る気持ちを形ではなく心に根付かせる取り組みを行っています。

また、「自他の敬愛と協力」「公共の精神」の育成を目指し、思いやりに基づくマナー実践の意識を根付かせるため、校内のゴミ処理・分別の徹底、すなわち「ゴミのポイ捨て・放置ゼロ」の取組みを始めています。当たり前前にできそうなことですが、全員が全員、実践できるわけではありません。地道に進めていこうと思います。

そして、授業研究です。神奈川県では「組織的な授業改善」を進めています。本校でも言語活動を取り入れた授業研究が進められています。ただ、他校と少々違うのは、キャリア教育に基づく授業研究であることです。学習のための学習ではなく、社会人として必要な力を身につけることを意識しています。経済産業省は「社会人基礎力」として、「社会や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的力」を3つあげています。

それは、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」で、それぞれに能力の要素があります。例えば、「考え抜く力」なら課題発見力・計画力・想像力、「チームで働く力」なら発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力等です。これらの力は学校教育で身につけなければならないものです。

基礎基本を理解・習得し、それらを活用して、グループで応用的課題を解決していくスタイルの授業が求められています。課題を発見し話し合いながら問題を解決する力、いわば「チームとしての学力」が必要となっています。



校長 遠藤 誠